

飯高タイムズ 138

》 》 》 ホームページはこちら ⇒ <http://www.ishikawa-c.ed.jp/~iidaxh/>

地域と共に

教頭 佐道 正春

少子高齢化による過疎社会が奥能登地域における学校環境を大きく変化させています。創立から103年目を迎えた奥能登随一の伝統校である本校もその渦中にあります。

明治45年に珠洲郡立実科高等女学校からスタートし、石川県立飯田高等女学校、飯田中学校を経て昭和23年の学制改革により石川県立飯田高等学校が設立されました。その後、昭和38年に宝立の地に珠洲実業高校が設立されましたが、平成20年に再び統合され今日に至っています。過去には最大で飯田高校6クラス、珠洲実業高校6クラスの時代がありました。現在はその3分の1の1学年160名(普通科3クラス、総合学科1クラス)の募集定員となっていますが、残念ながら今後さらに生徒数が減少することが予想されています。

そんな中で、今後飯田高校の果たすべきことは、地域の最高学府として、教養人の育成であり、進路保証に繋げる教育機関としての役割です。進学塾や予備校がない本地域にとってのその責務は大きいと感じています。また、地域唯一の学校として、将来の地域リーダーを育て、地域に活力を与える存在でありたいと願っています。現在は約9割の生徒が地元を離れて進学・就職します。自宅から通える進路先が少ない本地域としてはやむを得ない状況であります。そこで、地域に活力を与える若者の定着を図るために、一旦金沢近郊や他県へ進学・

就職した卒業生が社会人としてのキャリアを身につけ、地元へ帰ってこようと思える環境づくり、さらには自分たちが地域を創造するという気概を持った若者を育てることも本校が担う役割であると感じています。本校では「地域理解」と「郷土愛の醸成」を目標としたキャリア教育を実践しています。その中でキーとなるのが「地域連携の取組み」です。地域のさまざまな文化・産業・伝統を学び、未来の地域を支える若者を育てたいと考えています。近頃は地域活性化を論じるときに「グローバル」という言葉が引用されます。「グローバルな視野を持ち、自分の地域(ローカル)で活動する」ことを意味します。国際的な視野を持ちながら、地域(地方)で活動することが可能になったのが現代社会です。

また地域コミュニティとしての社会体育への役割も大きな要素であると感じています。現在、部活動指導に地域の指導者にも関わっていただいております。そこで学んだ生徒たちが将来地域の社会体育の担い手としてコミュニティを継続、活性化させていく、ここにも地域の学校としての役割があると考えます。部活動ではチャンピオンスポーツとしての側面ばかりがクローズアップされがちですが、生涯スポーツとしての側面も大切にしたいと考えます。今後は余暇の質が求められる時代です。そういう側面からも部活動をサポートし、学業だけでなく健全な心身を育みたいと考えています。飯田高校は、地域と共生し、地域と密着しながらさらに歴史を重ねてまいります。今後ともご指導のほどよろしく願いたします。



平成27年度「キャリア教育講演会」の開催

総務課 濱野 伸雄

「いしかわ教育ウィーク」の初日、11月1日(日)午後、今年度のキャリア教育講演会は、講師に東京理科大学名誉教授の谷辰夫工学博士をお迎えし、『21世紀を生きる～科学・技術万能の時代を経て～』と題してお話して頂きました。

谷先生は、本校第10回卒業生でもあり、在校生に対し分かりやすく丁寧に話して下さったこともあり、感銘を受けた生徒たちの声が多く聞かれました。



＜生徒の感想文より抜粋＞

・谷さんが今日の講演を通して私たちに伝えたかったこと。1つ目は失敗を恐れずに努力すること。2つ目は自然とともに生きること。3つ目は「be・do・have」を常に意識すること。私はこの3つを常に意識し21世紀を生きる人間の一人として少しでも社会に貢献できれば良いと思った。(1年生女子)

・講演は主に21世紀をどのように生きるかというものでしたが、特に印象深かったのは、「be」と「do」と「have」についての話です。今の自分の在り方を考え、次に行動し、それを未来へ活用していくこと。今の自分が大切にしなければならないことだと強く感じました。(3年生男子)



多様性の中の協調を

～国際理解講演会～ 英語科 橋本昌一郎

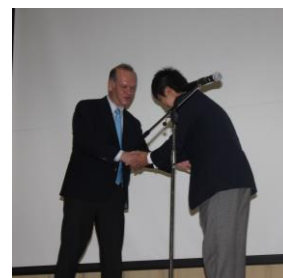
欧州連合(EU)加盟国の大使及び外交官が「EUがあなたの学校のやってくる」と題して、全国各地の高校を訪問する行事の一環として、11月10日(火)午後、本校体育館でフォン＝リムシャ公使(ドイツ大使館)による講演がありました。EUは言語、民族、宗教の異なる28カ国が欧州と世界をより良い場所にするために創設された協同体です。言わばグローバル時代の先進的なモデルであり、この講演は本校の生徒たちが卒業後に日本や世界の未来を切り開いていくための大きなヒントを与えてくれました。

2度の世界大戦の主戦場として大きな被害を受けた欧州が平和を願い、「対立より協力」「国境のない生活」

「問題はいつも協同で解決」を決意した歴史的経緯と現在の活動についてパワーポイントのスライドを使った説明がありました。広い体育館内で公使の力強いドイツ語

と大使館通訳の歯切れの良い日本語が耳に心地よく響く時間が流れました。

その中で「28カ国はそれぞれ独立した国家であり、共同体でもあるという二重性を持つ」「統合とは違いを取り除くことではなく、違いを認め尊重すること」といった貴重なメッセージを頂きました。質疑応答では、生徒たちから英語で「EU統合が成功した秘訣は?」「難民問題への対応は?」「グローバル社会における日本人の長所と短所は?」



といった鋭い質問があり、公使がうれしそうに、そして真剣に答えてくれました。

最後に生徒会長の太田圭吾君(2B)が謝辞と共に国際社会で積極的な役割を果たしたいという決意を述べてくれました。控えめすぎるという日本人の欠点、次の世代では改善されることを予感させる実り多い講演会となりました。

飯高3年生 進路状況

～足元と空を見る11月～

進路指導課 大工高志

藤林台の高みに立つ飯高校舎。3階の進路指導室から望む立山の山頂部に、白く雪が積もる季節になりました。今回は、3年生の進路状況をお知らせします。

9月から始まった就職戦線。民間就職希望者は各社から15件の内定を頂きました。また公務員試験では延べ16件の合格者を出しています。近年、飯高の生徒は地元志向が強く、校内の面接練習では「地元で働き、地域に貢献する人間になりたい」という声がよく聞かれます。加えて今年の3年生は「システム情報」「総合ビジネス」といった類型で学んだことを生かす進路選択が多く見られます。

進学では私立大学や上級学校で14名の合格者を数えています。推薦やAO方式の受験に挑むためには、日々の積み重ねが不可欠です。加えて面接や小論文では人間性や意欲が問われます。自己の適性を考え、周囲のアドバイスを素直に耳を傾けることも必要です。少子化を懸念し幼児教育の道に進む生徒、高齢化を憂えて医療を志す生徒。3年間の学習、部活動、行事で培った力。悩みながらも自分の進路を考え続け、実現に向けて積み重ねたひとりひとりの努力と未来が成果となってあらわれています。「私の体は能登でできている。なにもないことの豊かさ、贅沢さを知っている」かつて地方誌に掲載された言葉です。湧き出してやむことのない故郷への思いを、私たちは飯高生たちから感じるができます。

国公立大学受験者はいよいよこれからが佳境です。1月16日～17日に実施される大学入学者選抜センター試験。試験に向けたセンター対策演習が間もなくスタートします。これから、センター演習で力を伸ばすには日々の工夫が必要です。

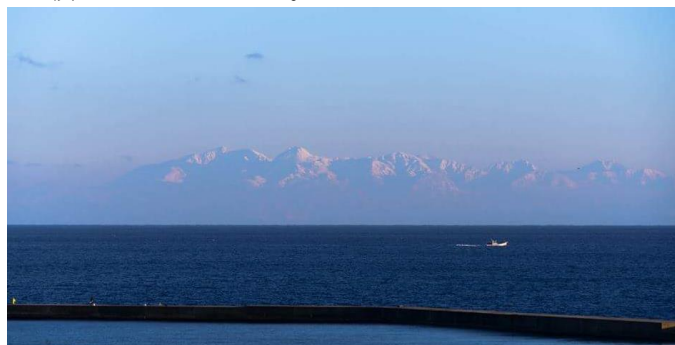
一つは「3日空けない」ことです。国公立大学志願者は5教科8科目、合計900点の試験をセンターで受験します。一人が英・数・国・社・理と6つの試験を受けることになるわけです。各教科で5点アップすることができれば、総点は30点伸びることになります。不得手な教科であっても3日空けることなく学習し、得点を変化させやすいところを変化させていく。そういう学習の配分に留意することです。大学入試では英語が大きな比重を占めることが多く、飯高生の学習の傾きを考えると、英語は毎日やる必要があるかも知れません。

次に「穴を埋める」ことです。基礎を積み上げ、頑強

な土台の上に応用発展的学力を身につけるというのが一般的な考え方かも知れません。が、これまで積み上げてきた学習の成果には必ずくぼみや穴があります。マーク演習で二択まで絞り込んで正解した問題や誤った問題は、最も正解に近づいている問題です。解説や質問を利用して腑に落ちるところまで仕上げてください。偶然、正解できた問題、解けなかった問題を納得できるところまでやり込むことも必要です。同傾向の問題に「連敗」してしまうことがないよう確実に穴を埋めて下さい。

ゆっくりと急ぐことも大切です。矛盾した表現ですが、ゆっくりしては間に合わず、急いでばかりいてはあせりが出ます。『走る人』の著者岡崎圭氏は「走るときは足元と空を見る」と言います。ここからの2ヶ月は「足元」と「空」に目を配りながらゆっくりと急いでください。氏の「自然は偉大だが、人間も強い意志を持っていることを証明したい」というのも良い言葉です。

武道の世界に「千日鍛錬」という言葉があります。武道では「千日の稽古を鍛といい、万日の稽古を錬」と呼ぶのだそうです。競技スポーツの世界にも「10,000時間ルール」があります。ある水準に達するには一定の期間、真摯に指導を受け、トレーニングする必要がある、といったところでしょうか。3時間×365日×10年で10,000時間に達します。何であれ、取り組みが成果となって現れてくるまでにはそれぞれに長い時間が必要です。真摯に量を積み上げることで質が変化します。次第に質は向上していきます。学習の場合は2ヶ月というのが一つの目安です。長くタフな期間を乗り切るには力が必要になります。3年間の高校生活の様々な場面で身につけた力を総動員し、力を出し切ってください。一般論ですが、予備校に通う過年度卒生のここからの学力の伸びは微小であるようです。一方、飯高生はここから200点近く力を伸ばしていきます。飯高生は2月の国公立前期、3月の国公立後期試験まで力を伸ばし続けます。近年では後期試験で大学に合格する生徒が増加しています。最後の最後まで決してあきらめることなく、努力を積み重ねてください。



「一人ひとり」の進路指導

2年学年主任 山本 宏行

2年生は「進路チューター制度」が始まりました。これは毎年行っていますが、学校長以下、全教職員が生徒一人ひとりにチューターとして割り当てられ、個人面談による様々な助言を通して進路相談に当たる取り組みです。

もちろん、担任とのつながりは今までどおりですが、それ以外の教員と面談することは新鮮です。最初は緊張していた生徒たちも、熱の入った面談が行われるうちに、生徒の表情も引き締まったものに変化して、今では多くの生徒が自分の進路について真剣に考えています。面識の少ない先生との面談だからこそ言える本音、面談するようになって知った自分の新しい面等々、進路チューター制度を大いに利用して進路実現をしてもらいたいと思います。今後は、次のような取り組みを行います。

①進路先候補を挙げ、それについて調べる「進路レポート」の作成

②進路目標を決定し、目標達成のための決意を示す「第一志望届」の作成

これらが生徒の進路実現の一助となるように、学校全体で取り組んでいく所存です。

平成27年度 石川県高等学校 新人大会の成績

<団 体>

卓球	男子 2回戦 0-3 金沢北陵	女子 1回戦 0-3 金沢商
バドミントン	男子 2回戦 0-3 能登	女子 2回戦 0-3 鵬学園
柔道	1回戦 0-5 航空石川	
剣道	男子 ベスト8 松本旗出場決定	女子 1回戦 0-4 星稜
サッカー部	2回戦 0-3 県工 7-0 志賀	1-0 羽咋工 0-1 野々市明倫
女子バレーボール	予選リーグ 0-2 金沢西 1-2 鶴来	
バスケットボール部	男子 2回戦 67-54 金沢商 75-81 桜丘	女子 3回戦 162-9 七尾東雲 51-88 金沢西
ソフトテニス	男子 ベスト8 全日本高等学校選抜県大会出場決定	3-0 大聖寺実 2-1 石川高専
	1-2 金沢東	
女子 ベスト8	全日本高等学校選抜県大会出場決定	3-0 志賀 2-0 尾山台
	0-2 金沢東	
ソフトボール	1回戦 0-10 津幡・金沢学院東	
ウエイトリフティング	男子 3位	女子 2位
陸上競技	女子総合6位 女子フィールド3位	
野球	1年生大会 3-15 星稜	
相撲部	団体5位	
英語部	ドラマフェスティバル 団体4位	
芸術部	能登地区高校美術展 美術4点 写真5点 書道3点	
吹奏楽部	珠洲吹奏楽祭2015 参加	
工業研究部	ジャパンマイコンカーラリー-2016 北信越大会	
	予選35位で決勝進出(飯田高校初)	

総合学科 総合ビジネス系列
簿記会計競技 団体3位
英語レシテーション 競技 団体2位
電卓競技 団体4位

<個 人>

ソフトテニス	男子 平田 拓夢(2B)・中田 悠斗(1A)	ベスト32	インドア大会出場決定
	女子 舟木 千絵(2A)・亀田 恵(2B)	ベスト8	インドア大会出場決定
	濱田 茉優(2C)・新田 彩莉(2C)	ベスト32	インドア大会出場決定
ウエイトリフティング	男 105kg級 北川 虎史(2D)	1位	
	77kg級 畠山 義慶(1C)	3位	
	69kg級 坂口 達哉(1C)	1位	
	53kg級 川高 竜輝(1D)	3位	
	女子 63kg級 畠山 慶子(2D)	2位	
陸上競技	男子 やり投 青坂 直樹(1B)	4位	北信越大会出場
	三段跳 頼廣 勁汰(2D)	3位	北信越大会出場
女子 やり投 佐藤 里香(2B)	2位	北信越大会出場	
	やり投 西川奈々子(1C)	3位	北信越大会出場
	円盤投 岩瀬 彩楓(1A)	3位	北信越大会出場
	砲丸投 岩瀬 彩楓(1A)	4位	北信越大会出場
	走幅跳 山下 葵(1B)	8位	
相撲部	軽量級 元平 将太(1A)	第3位	
英語部	ドラマフェスティバル 谷内 君恵(1B)	最優秀女優賞	
総合学科 総合ビジネス系列	簿記会計競技 形倉 愛理(2D)	佳良賞	北信越大会出場決定
	英語レシテーション 競技 井上 陽香(2D)	佳良賞	

平成27年度 北信越高等学校 新人体育大会の成績

陸上競技	男子 やり投 青坂 直樹(1B)	出場
	三段跳 頼廣 勁汰(2D)	出場
女子 やり投 佐藤 里香(2B)	4位	
	やり投 西川奈々子(1C)	出場
	円盤投 岩瀬 彩楓(1A)	6位
	砲丸投 岩瀬 彩楓(1A)	出場